

# 提 言 書

平成30年3月15日

平成29年度  
とっとり若者地方創生会議

## とっとり若者地方創生会議（平成 29 年度）

会 長	大島健太郎			
副会長	小松 弘人			
委 員	岸 舞	安田 里菜	澤田 雄太	
	西岡 大穂	黒木 初乃	吉田 真優	

### ■会議等開催実績

#### ○会議（全 21 回）

平成 29 年 5 月 31 日、6 月 11 日、6 月 21 日、7 月 5 日、7 月 19 日  
9 月 19 日、10 月 4 日、10 月 11 日、11 月 8 日、  
11 月 22 日、11 月 29 日、12 月 13 日、12 月 20 日、  
平成 30 年 1 月 10 日、1 月 17 日、1 月 31 日、2 月 13 日、  
2 月 19 日、2 月 22 日、3 月 7 日、3 月 14 日

#### ○活動内容（主なもの）

- ・若者目線の鳥取の新しい楽しみ方を提案するバスツアー  
「よるバス～土曜の夜更かしナイト～」(平成 29 年 9 月 30 日(土))
- ・鳥取で働き、暮らす社会人と学生をつなぐイベント  
「カフェ・de・トーク 2」の開催 (平成 29 年 11 月 18 日(土))
- ・中心市街地における若者人口を増やすための  
「ぐるっ歩マップ」の作成 (平成 29 年 12 月～平成 30 年 3 月)

(その他)

- ・明治大学ふるさと活動隊との交流 (平成 29 年 8 月 31 日(木))

# 提 言

## ■背景

鳥取市には鳥取大学と公立鳥取環境大学の2つの大学があり、県外出身の学生が8割以上を占めている。しかし、2017年3月の県内就職率は、公立鳥取環境大学で22.9%、鳥取大で20.2%であり、県外出身者のほとんどが大学卒業後の就職先として県外を選択している。鳥取県では、毎年約1,000人のペースで若年世代人口が減少（15～24歳の県外転出超過 H29年3月954人←H28年3月992人）しており、若者定着が進まず、若者人口の社会減が進むと、地域経済やコミュニティの担い手が不足し、地域の衰退は否めない。若者の地域定着を促進する方策が求められている。

## ■活動内容

とっとり若者地方創生会議では、若者の地域への定着、特に大学生の鳥取市への定着を目的として、平成28年度活動から得た以下の2点をテーマに平成29年度の活動を展開した。

- ①県内の大学および専門学校等の学生と鳥取市の大人とのつながりの機会を創出する
- ②県内の大学および専門学校等の学生が鳥取市に対して愛着を感じることでできる機会を創出する

具体的には、

- 県外出身の学生に、若者目線の鳥取の新しい楽しみ方を提案するバスツアー「よるバス～土曜の夜更かしナイト～」の企画・実施
- 市内で働き、暮らす社会人と学生をつなぐイベント「カフェ・de・トーク2」の開催
- 中心市街地における若者人口を増やすためのマップ「ぐるっ歩マップ」の作成などに取り組んだ。

## ■活動経過

初年度の平成28年度に比べ、引き継ぐべき具体的なテーマやミッションがまとまっていたため、早期に平成29年度の活動を開始することができた。また、鳥取・因幡観光ネットワーク協議会や、鳥取市中心市街地活性化協議会の協力を得て取組が実現したこと、市内各所の関係する団体・個人の方に、私たちの活動をご理解いただき、ご協力いただいた。

今年度の取組で成果を確認できたこと、反対に難しかったこと、参加者の声やメンバーでの話し合いで明らかになった課題を踏まえ、来年度の活動につなげたい。

来年度以降のとっとり若者地方創生会議の活動として、以下のテーマを提案・提言する。

## ■提言内容

### ◆テーマ

- ①若者に伝える・伝わる広報の調査研究
- ②若者目線の鳥取の楽しみ方の提案
- ③学生×学生×大人 いろいろな人をつなぐイベントの開催

#### ①若者に伝える・伝わる広報の調査研究

平成29年度は、「よるバス」企画や「社会人との交流イベント」を実施したが、ターゲットとして想定していた層の学生に伝えることの難しさを実感した。

地域活動や課外活動に積極的でない学生に、いかに伝え、参加してもらうかというこは、同世代である私たちにとっても非常に難しく、今後の課題となった。

来年度は、車を持たない&テレビを見ない&SNSの限られた情報しか見ない、今の学生の実態を調査し、どのようなアプローチ方法があるのか調査研究したい。については、この調査結果を鳥取市の広報へ活用していただきたい。

#### ②若者目線の鳥取の楽しみ方の提案

今回実施した「よるバス」企画は、車を持たない学生が、公共交通機関が利用できない時間帯かつ鳥取ならではの体験が楽しめる内容にした。この今回のコンセプトでの企画は、参加者アンケートから見ても満足度が高く、成功したと思われる。

学生には知られていない中心市街地と周辺部の魅力的な場所はまだまだ市内に存在するので、それらを紹介するまち歩きイベントを実施するなど、若者目線の鳥取の楽しみ方を提案したい。鳥取市においても、中心市街地・周辺部へ若者を呼び込む仕掛けを検討されたい。

#### ③学生×学生×大人 いろいろな人をつなぐイベントの開催

平成28年度から開催している「カフェ de トーク」は、今年度2回目の開催となった。社会人の方との交流を通じて、将来鳥取で働き、暮らすことをより具体的に想像できるようにすることが目的のイベントである。しかしながら、課外活動に積極的な学生の参加が多く、私たちがターゲットとしていた課外活動に消極的な学生の参加が少なかった。

課外活動に消極的な学生を呼び込む・参加しやすい企画、また一方で積極的な学生がもっと満足できる企画をそれぞれ別立てに検討する必要がある。

これらを踏まえ、私たち自身が活動のメインテーマと考える「いろいろな人をつなぐきっかけづくり」に通じる社会人との交流イベントの開催は、平成30年度も継続したい。

鳥取市においても、若者の地域定着を目的とした若者（学生）と社会人とのつながりづくりについて、積極的に取り組んでいただきたい。